

一般財団法人アジア政経学会  
平成 26 年度(2014 年度)事業概要報告書

(1) 法人移行後の手続き

平成 25 年 4 月 1 日付にて一般財団法人へ移行したことにともない、以下の対応をおこなった。

- \*新定款に基づき、一般財団法人としての学会運営につとめた。
- \*一般財団法人移行後、最初の理事選出のための会員投票などを、定款に基づいて、透明性を担保するかたちで滞りなく進めた。
- \*基本財産を充実させ、円滑な事業実施に資するとともに、内部留保を適正な水準で維持した。
- \*学会ホームページ及びニューズレター等を活用し、学会並びに法人移行後の学会運営のありかたについての情報を積極的に公開し、会員の理解を得られるよう努めた。

(2) 平成 26 年度理事会の開催

①理事会の開催

以下の日程で理事会を開催した。

- 第 1 回：2014 年 04 月 12 日(土)
- 第 2 回：2014 年 05 月 31 日(土)
- 第 3 回：2014 年 07 月 19 日(土)
- 第 4 回：2014 年 09 月 14 日(土)
- 第 5 回：2014 年 10 月 18 日(土)
- 第 6 回：2014 年 12 月 20 日(土)
- 第 7 回：2015 年 03 月 01 日(日)

(3) 大会、研究会の開催

① 全国大会〔開催日:2014 年 5 月 31 日(土)、6 月 1 日(日)、主催校:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス〕

- \*共通論題 1 「権威主義体制における議会と選挙」  
(報告者 5 名)
- \*共通論題 2 「蒋介石と戦後東アジアの国際秩序の形成」  
(報告者 4 名、討論者 2 名)
- \*国際セッション「How East Asian Businessmen Have Perceived Political Risk in China?: A Comparative View (東アジアのビジネスマンが中国の政治リスクをどのように認識してきたか?: 比較の視点)」  
(報告者 3 名、討論者 1 名)
- \*自由論題 1 「国際関係」(報告者 3 名、討論者 2 名)

- \*自由論題 2 「ASEAN のダイナミズム」(報告者 3 名、討論者 3 名)
- \*自由論題 3 「中国の経済と社会」(報告者 3 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 4 「東南アジアの政治、社会、法」(報告者 3 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 5 「中国政治」(報告者 2 名、討論者 1 名)
- \*自由論題 6 「東アジア経済」(報告者 3 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 7 「中国経済」(報告者 3 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 8 「東南アジアの社会」(報告者 3 名、討論者 2 名)
- \*分科会 1 「Risk and Asian Society: Men and Disasters」  
(報告者 3 名、討論者 1 名)
- \*分科会 2 「インドシナ諸国におけるドル化の実態報告(カンボジアとミャンマーについて)」  
(報告者 3 名、討論者 1 名)
- \*分科会 3 「インドネシアにおけるアブラヤシ農園開発—制度の変遷と主体群の変化」  
(報告者 3 名、討論者 1 名)
- \*分科会 4 「北東アジア研究の地理情報システム」(報告者 3 名、討論者 1 名)

② 東日本大会〔開催日:2014 10 月 18 日(土)、主催校:防衛大学校〕

- \*共通論題 「東アジアの平和構築」(報告者 4 名、討論者 3 名)
- \*自由論題 1 「国際関係—アジアと日本」(報告者 4 名、討論者 3 名)
- \*自由論題 2 「東アジアの政治」(報告者 3 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 3 「アジアの経済」(報告者 2 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 4 「東南アジアの経済と社会」(報告者 3 名、討論者 3 名)
- \*分科会 1 「中ソ関係史の再検討—1944—55」(報告者 3 名、討論者 1 名)
- \*分科会 2 「日中合弁企業のペアマネジメント—海信日立の事例を中心に」  
(報告者 3 名)
- \*分科会 3 「アジアの資源開発におけるガバナンスのあり方—市場経済移行国における現状と今後の課題」  
(報告者 3 名、討論者 2 名)

③ 西日本大会〔開催日:2014 年 11 月 29 日(土) 主催校:京都大学〕

- \*共通論題 1 「現代アジアにおけるグローバル化と排他的ナショナリズム」  
(報告者 4、討論者 2 名)
- \*自由論題 1 「中国と近現代史」(報告者 3 名、討論者 1 名)
- \*自由論題 2 「経済と農村・土地」(報告者 3 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 3 「経済発展と技術・ガバナンス」(報告者 2 名、討論者 2 名)
- \*自由論題 4 「中国と国際関係」(報告者 3 名、討論者 3 名)
- \*分科会 1 「州政治と連邦政治: インド新政権の統治能力を考える」

(報告者 3 名、討論者 1 名)

\*分科会 2 「アジアにおける企業と経済開発—企業レベルデータによる計量的アプローチ」

(報告者 3 名、討論者 1 名)

※各大会の内容は学会ニューズレターで詳しく紹介されており、各ニューズレターは学会ホームページ (<http://www.jaas.or.jp>) でも公開されている。

(4) 『アジア研究』 刊行

\* 『アジア研究』 第 59 巻第 1 号・第 2 号合併号〔平成 26 年 8 月付刊行〕、第 59 巻第 3 号・第 4 号合併号〔平成 26 年 9 月付刊行〕が刊行された。

※各会誌も同様に学会ホームページ(<http://www.jaas.or.jp>)でも公開されている。

\* 『アジア研究』のインターネット上での発信を再編・強化するため、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) の提供する J-STAGE への掲載作業を完了した。

(5) 国際交流の推進

① 全国大会における国際セッションの開催 (前掲)

② 2014 年 9 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日)、韓国で開催された Asia Economic Community Forum (AECF) 2014 に参加し、研究報告を行った。

③ 2014 年 12 月 23 日 (火)、台湾で中央研究院社会科学研究所との共催で International Symposium on Asian Social, Political and Economic Transformations: A New paradigm? と題された国際シンポジウムを実施した。

(6) 学会ホームページとニューズレターの充実

\* ニューズレターの充実に努め、研究大会報告の内容を豊富にした。

\* ホームページの英文版を設け、内容的にも充実化を図った。

(7) 定例研究会の開催

\* 第 12 回: 2014 年 4 月 12 日 (土) 13:30~15:30 (報告者 2 名、討論者 2 名)  
東京大学本郷キャンパスにて開催

\* 第 13 回: 2014 年 9 月 14 日 (日) 13:00~14:50 (報告者 2 名、討論者 2 名)  
立教大学池袋キャンパスにて開催

\* 第 14 回: 2015 年 12 月 20 日 (土) 13:00~14:50 (報告者 2 名、討論者 2 名)  
場所: 立教大学池袋キャンパスにて開催

(8) 会員数

2015 年 3 月 31 日現在、会員総数は 1,216 名である (内訳: 維持 3、名誉 9、一般特例 1、一般 1,203 【一般: 948 (会費 10,000 円)、学生 (会費 6,000 円): 105、優待: 56、会費分類未定: 94 [最新所属・職位確認中 44、住所不明 16、休会 34]】)

\*ただし、本人の最終確認が取れないまま、長期にわたって連絡の取れない会員を

含む。

\*所属先、研究対象国、研究テーマの詳細はホームページに掲載した。

(9)2014年度版会員名簿の作成と送付

\*2014年度版会員名簿を作成し、全会員に送付した。

(10)会員投票の実施

\*2015年度から発足する新規理事の選出の際に参考とするため、2015年2月1日から2月28日の期間に「2015年度会員投票」を実施した。2015年3月9日、竹中理事長、川島理事、金子理事、山田理事の立会いの下、開票作業を行った。

(平成 26 年度事業報告の附属明細書について)

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する 事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。